

切手雑学クイズ【外国編】その1 回答

1. パリのルーブル美術館は何年に開館したでしょう？

答え：B 1793年



この切手はルーブル美術館開館200年の記念切手として、フランスから1993年に発行されました。中央の切手には開館から200年目にあたる1993の数字が、右の切手には開館年の1793の数字が描かれています。左のモナリザの目が描かれた部分は、切手の専門用語で「タブ」と呼び、切手ではありません。

2. ルーブル美術館に所蔵されているレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画はどれ？

答え：C 「聖アンナと聖母子」

ルーブル美術館にあるダ・ヴィンチの絵画といえば「モナリザ」が有名ですが、この「聖アンナと聖母子」も傑作として知られています。この切手は、2019年にダ・ヴィンチ没後500年を記念してフランスから発行されました。Bの「聖トマス」はルーブル美術館の所蔵ですが、作者はジョルジュ・ド・ラ・トゥールです。Aの「花下遊楽図」は、東京国立博物館所蔵で、作者は狩野長信です。



3. 世界最初のサッカーの記念切手に描かれた、この彫刻の名前は？

答え：A サモトラケのニケ

世界最初のサッカーの記念切手は、1924年の第8回オリンピックパリ大会で優勝したウルグアイから発行されました。図案は、イタリアのサモトラケ島で発見された、ギリシャ神話の勝利の女神・ニケです。このサモトラケのニケと、ミロのヴィーナスはルーブル美術館に、ミケランジェロのダビデはフィレンツェのアカデミア美術館に収蔵されています。

